

職員向け 放課後等デイサービス自己評価表(集計結果)

対象者: 7名

松山校

実施時期: 令和元年10月

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が活動スペース(指導訓練室等)との関係で適切であるか	6		1	学習と活動スペースを分けている。
	2	職員の配置数は適切であるか	5	1	1	標準配置数以上の配置をしている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5		2	児童からの意見を取り入れたい。
業務改善	4	業務改善を進めるための目標を設定し、振り返りに広く職員が参画しているか	6	1		ミーティングや課題検討等で随時意見交換を行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7			連絡帳や文書、電子メールや送迎時、来校時に実施している。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	1		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	3	1	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7			機会を見つけ参加/実施している。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			相談支援事業所と連携を図り、アセスメントを適切に行い、保護者や子どものニーズを把握し計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、発達状況、心理的課題、養育環境、子どもの興味関心ごと、必要な情報を収集しているか	6	1		日々アンテナをはって必要な情報を収集している。
	11	活動内容をチームで話し合い、共有しているか	7			情報共有の機会を増やす。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	2		体操やダンス、ロボット教室、季節イベント、野外活動など各種イベントを実施している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	1		さらに決め細やかに設定していきたい。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせているか	6	1		部屋を分けるなど工夫して実施している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7			支援内容や担当を掲示している。 前日の様子を申し送りしている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	3		緊急でない場合は、翌日の午前中を中心に実施している。

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7			活動報告書（日次）を作成している。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7			担当者会議（相談支援事業所・保護者・当所）を実施している。 活動報告書をもとに、ミーティングや課題検討等で実施している。
	19	基本的な生活習慣の習得、創作活動を通じての自己表現、地域交流による社会性の向上、活動選択し自己決定を促す等の支援を行っているか	7			地域交流の機会を今後さらに増やしていきたい。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	2		児発管や担当指導員はもとより可能な限り他のスタッフも参画している。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6	1		緊急時や送迎の変更等がある場合は、携帯電話などで連絡がとれる体制を整えている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	5		現在、医療的ケアが必要な子どもがいないが、主治医等を把握し、緊急時には迅速に対応できるようにしている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	4		相談支援事業所からの情報や計画作成の段階で理解しているにとどまっている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	5		現在、該当者はいないが、情報を提供していきたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	2		ハートセンター等で実施されている研修会やセミナー等に参画している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	2	1	学習塾の児童などと今後、交流を増やしていきたい。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	2	4	1	研修や勉強会に参画している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	1		連絡帳や文書、電子メールや送迎時、来校時に実施している。 活動報告書（日次）を毎月共有している。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	3	1	長崎市が委託実施している制度の周知を行った。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7			見学や体験、入所前に説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6		1	相談があれば、その都度対応している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	4	1	保護者を対象とした研修や意見交換会を企画したい。 また父母の会や保護者会の設立ニーズをもう一度時期をみて確認したい。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	1		苦情受付担当者や解決責任者等の体制を整備し、迅速に対応できるようにしている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	2		活動の写真を非公開サイトで閲覧できるようにしている。 連絡帳や文書、電子メールや送迎時、来校時に実施している。
	35	個人情報に十分注意しているか	7			鍵付き書庫で保管している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7			絵や図や道具、連絡帳や電子メールやFAXも活用し情報伝達を行っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	3		交流の機会を増やしていきたい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	3	1	マニュアル周知の研修を行うなど今後さらなる周知に取り組んでいきたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7			年に2回避難訓練を実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6		1	強度行動障害者研修や虐待防止研修などに参加している。 また研修会も実施した。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3	4		身体拘束は行っていない（身体拘束が必要な利用者がいない）
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	4		食物アレルギーの有無確認は利用開始時に行っている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	1		供覧できるようにしている。